

先駆者の実践に至るプロセスを知り、自ら切り開く力をつけよう

地域包括ケアシステム研修会

今年も著名な講師陣による研修会を行います

— 年齢・障害の枠を超えた地域づくりから雇用を生み出す起業家!その醍醐味を肌で感じよう —

常識破りのすすめ『地域丸ごと作業療法』



二神雅一 氏

株式会社 創心會 代表取締役 作業療法士

information

日程: 2019年6月27日 (木)
19~21時 (受付: 18:30~)
場所: 大宮ソニックシティ9階906会議室

お申し込みは
こちらから→



<https://bit.ly/2TeKpMJ>

— 住民を動かす琴線にふれる仕掛け!その極意を学ぼう —

『生きる』を支える ~幸手モデルの理論と実践~



中野智紀 氏

東埼玉総合病院 医師
地域糖尿病センター センター長

information

日程: 2019年8月30日 (金)
19~21時 (受付: 18:30~)
場所: 大宮ソニックシティ9階906会議室

お申し込みは
こちらから→



<https://bit.ly/2U0RSDt>

— 当事者とながら社会を変えよう —

『ないものはつくる』でもどうやって?



湯浅 誠 氏

社会活動家
東京大学特任教授
全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長

information

日程: 2019年12月12日 (木)
19~21時 (受付: 18:30~)
場所: 大宮ソニックシティ9階906会議室

お申し込みは
こちらから→



<https://bit.ly/2Fjn6wj>

対象

地域包括ケアシステムに関心・興味のある専門職や
地域支援に従事する専門職の方(先着100名)

参加
費用

2000円
(当日お支払いいただきます)



二神雅一 氏

Futagami Masakazu

- 株式会社 創心會 代表取締役
- 一般社団法人 全国介護事業者協議会
- 一般社団法人 日本作業療法士会 理事
- 作業療法士
- 介護支援専門職員

1965年、兵庫県西宮市生まれ。愛媛十全医療学院・作業療法学科卒業。1996年岡山県倉敷市にて「創心會在宅ケアサービス」を設立する。介護保険制度が開始された2000年に「株式会社創心會」に組織変更。「日本一不親切な親切」を看板に掲げる。高齢者や障がい者の機能回復や社会復帰、自立した生活のために独自の介護プロセス「本物ケア」を用いて、これまでに3万人を超える利用者へ自立支援介護を提供している。現在では数々のグループ企業を設立し、誰もが安心して暮らせる社会創りに挑戦し続けている。基本理念は「予防から終末期までのケアを住み慣れた地域で完結するために、リハビリテーション理論に基づいた包括的本物ケアシステムを構築・提供・発信・普及してケア改革を起こすこと」。2018年度農林水産省6次産業化アワード奨励賞「農福連携賞」を受賞。

【著書】思考のリミッターを外す非常識力 日本一不親切な介護施設に行列ができる理由（ユサプル）
【講師・委員会】

- ・1999年 倉敷市 介護認定審査 審査員
- ・2006年 玉野総合医療専門学校 非常勤講師
- ・2009年 倉敷芸術科学大学 非常勤講師
- ・2012年 一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会 理事
- ・2013年 一般社団法人全国介護事業者協議会 理事
- ・2015年 一般社団法人OTイノベーション機構あからん 理事
- ・2015年 一般社団法人日本作業療法士会 理事
- ・2018年 NPO全国在宅リハビリテーションを考える会 理事

【兼務職歴】

- ・2011年 株式会社 ハートスイッチ代表取締役
- ・2011年 NPO法人未来想造舎和久 代表理事
- ・2012年 合同会社 ど根性ファーム 代表社員
- ・2017年 社会福祉法人 創心福祉会 理事長
- ・2017年 合同会社 リンクスライブ 代表取締役

中野智紀 氏

Nakano Tomoki

- 東埼玉総合病院地域糖尿病センター長
- 埼玉医科大学非常勤講師
- 糖尿病学会認定指導医・専門医
- とねっと事務局
- 国家プロジェクト構成員

埼玉県越谷市出身。獨協医科大学（平成13年卒）。社会医療法人JMA東埼玉総合病院地域糖尿病センター勤務。埼玉医科大学非常勤講師、糖尿病学会認定指導医・専門医、埼玉県在宅医療リーダー、日本内科学会認定内科医、埼玉利根保健医療圏地域医療連携推進協議会（とねっと）事務局、埼玉県糖尿病協会理事。北葛北部医師会在宅医療担当理事、内閣官房IT戦略本部の医療情報化に関するタスクフォース構成員を歴任。第5回プライマリケア連合学会地域ケアネットワーク優秀賞受賞。とねっとはNHK自論公論で、幸手モデルはNHKクローズアップ現代やNHKスペシャルにてそれぞれ取り上げられている。

【主な著書・翻訳等】

- ・糖尿病医療スタッフの為の実践カーボカウント（医歯薬出版株式会社）
- ・読売新聞 読売オンライン
Yomi.Drにてコラム「Dr.PANDAの糖尿病こころのケア」連載（平成22年6月～9月）
- ・糖尿病1000年の知恵 私たちが患者さんから学んだこと（医歯薬出版株式会社）
- ・コミュニティヘルスのある社会へ（岩波書店）

【国家（公的）プロジェクト】

- ・内閣官房IT戦略本部 医療情報化に関するタスクフォース 構成員（平成22年度～23年度）
平成23年度 同 電子版糖尿病手帳に関するワーキンググループ構成員
- ・厚生労働省 平成22・23年度 科学研究費事業 EHR研究班 研究協力員
- ・厚生労働省 平成21年度 地域医療再生臨時特別交付金（埼玉利根保健医療圏にて受託）
- ・厚生労働省 平成24年度 在宅医療連携拠点事業（東埼玉総合病院にて受託）
- ・厚生労働省 平成25年度 地域医療再生基金在宅医療推進事業（幸手市にて受託）
- ・厚生労働省 平成26年度 科学研究費事業
「地域医療連携の連携診療情報項目の全国的な共通化確立に向けた研究」研究協力員
- ・厚生労働省 平成26年度 地域栄養ケア事業（埼玉県栄養士会と共に受託）
- ・埼玉県事業 平成27年度 糖尿病対策の推進事業（早期発見・受診支援の促進）幸手市薬剤師会とともに

湯浅 誠 氏

Yuasa Makoto

- 社会活動家
- 東京大学特任教授
- 全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長

1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。

東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学。

1990年代よりホームレス支援に従事し、2009年から足掛け3年間に閣内閣府参与に就任。

内閣官房社会的包摂推進室長、震災ボランティア連携室長など。

政策決定の現場に携わったことで、官民協働とともに、日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。

2014～2019年まで法政大学教授。

著書に『子どもが増えた！人口増・税収増の自治体経営』（泉房穂氏との共著 光文社新書 2019年）

『「なんとかする」子どもの貧困』（角川新書 2017年）

『ヒーローを待っていても世界は変わらない』（朝日新聞出版 2012年）

『反貧困』（岩波新書 2008年 第8回大佛次郎論壇賞 第14回平和・協同ジャーナリスト基金賞受賞）

『貧困についてとことん考えてみた』（茂木健一郎と共著 NHK出版 2010年）など多数。

ヤフーニュース個人に連載中の「1ミリでも進める子どもの貧困対策」で

「オーサーアワード2016」受賞、法政大学の教育実践で「学生が選ぶベストティーチャー」を

2年連続で受賞。「こども食堂安心・安全プロジェクト」でCampfireAward2018受賞。

他に日本弁護士連合会市民会議委員、文化放送「大竹まことゴールデンラジオ」

レギュラーコメンテーターなど。